

収支計算書

(基礎的電気通信役務支援機関業務特別会計)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 -	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 負担金収入	11,448,228,311	11,501,318,088	53,089,777	
(2) 雑収入	0	53,358	53,358	
事業活動収入計	11,448,228,311	11,501,371,446	53,143,135	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	11,449,640,416	11,498,734,841	49,094,425	
交付金支出	11,381,290,416	11,434,380,193	53,089,777	
給料手当支出	16,328,000	16,313,206	14,794	
福利厚生費支出	2,305,000	2,219,417	85,583	
会議費支出	52,000	68,571	16,571	
旅費交通費支出	980,000	1,154,043	174,043	
通信運搬費支出	896,000	841,306	54,694	
備品費支出	300,000	154,786	145,214	
消耗品費支出	492,000	485,695	6,305	
印刷製本費支出	50,000	1,680	48,320	
賃借公益費支出	338,000	337,680	320	
図書費支出	50,000	39,467	10,533	
諸謝金支出	3,185,000	3,300,915	115,915	
周知広報費支出	41,424,000	38,440,741	2,983,259	
支払利息支出	1,800,000	957,430	842,570	
雑支出	150,000	39,711	110,289	
(2) 管理費支出	8,074,000	8,070,788	3,212	
役員報酬支出	780,000	777,600	2,400	
給料手当支出	2,972,000	2,996,725	24,725	
福利厚生費支出	491,000	487,587	3,413	
旅費交通費支出	83,000	82,824	176	
光熱水料費支出	329,000	328,440	560	
賃借公益費支出	3,389,000	3,386,520	2,480	
租税公課支出	30,000	11,092	18,908	

事業活動支出計	11,457,714,416	11,506,805,629	49,091,213
事業活動収支差額	9,486,105	5,434,183	4,051,922
投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入			
借入金返済引当資産取崩収入	1,563,105	1,563,105	0
投資活動収入計	1,563,105	1,563,105	0
2. 投資活動支出			
(1) 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	887,000	887,000	0
借入金返済引当資産取得支出	0	214,652	214,652
(2) 固定資産取得支出			
ソフトウェア取得支出	0	294,000	294,000
投資活動支出計	887,000	1,395,652	508,652
投資活動収支差額	676,105	167,453	508,652
財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
(1) 借入金収入	65,311,000	167,652,026	102,341,026
財務活動収入計	65,311,000	167,652,026	102,341,026
2. 財務活動支出			
(1) 借入金返済支出	68,501,000	170,842,026	102,341,026
財務活動支出計	68,501,000	170,842,026	102,341,026
財務活動収支差額	3,190,000	3,190,000	0
予備費支出	3,000,000	-	3,000,000
当期収支差額	15,000,000	8,456,730	6,543,270
前期繰越収支差額	15,000,000	15,214,652	214,652
次期繰越収支差額	0	6,757,922	6,757,922

(注) 借入金限度額：ユニバーサルサービス（基礎的電気通信役務）支援機関の業務を円滑に遂行するため、平成19年度末決算における純資産の額を限度として、必要最小限の一時借入を行うことができる。

諸謝金支出の決算額については予算額に対し支出超となっているが、これは経理事務の一部外部委託によるものであり、この額131,250円を予備費から充当した。